

職員みずからによる 業務改革改善活動の導入を 清水 義朋 議員

質問 市でも職員のコスト意識や行政サービスの質を高めるような取り組みはされていると思うが、それとは別に民間企業におけるTQC活動のような小集団の改革改善活動を、全庁的に導入する考えはないか。

市長 職員一人一人が組織目標や業務改善課題等を明確に意識し行動するための目標管理制度を既に導入している。また、政策課題別チームの設置や3つの指針からなる福生市人材育成基本方針を策

定し取り組んでいるが、さらに着実にかつ的確に実施するための人材育成基本計画を策定し、取り組んでいきたい。



▲市役所1階フロアー

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、19人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。一問一答方式の試行中であるため、一括方式、混合方式（一括と一問一答の併用）、一問一答方式の3種類のうちいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、2月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市のホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

玉川上水緑地の樹木 管理はどのように 杉山 行男 議員

質問 玉川上水緑地保全是萌芽更新を前提とした取り組みと、前回の答弁から理解しているが、なかなかまとまらない現状と聞く。3つのゾーンに分かれそれぞれ個性的だが、緑地としての雑木林をどのように管理していくのか、見通しを伺いたい。

市長 玉川上水緑地を中心に活動している団体の方々と、今後の方向性を出す話し合いをしているが、文化の森で福生萌芽会が実施した「一定の区域を定めてすべて

の樹木を伐採する皆伐方法」か、「何本かの樹木を伐採する間伐方法」にするのかについて、現在検討中である。



▲みずくらいど公園

平成22年度予算 重点施策は何か 田村 昌巳 議員

質問 来年度予算の重点施策として「五つの元気」を主に検討していると思うが、その概略と、市民に直接関係する少子高齢化対策、教育内容の充実等の主な施策について伺いたい。

市長 「五つの元気」検討のワーキングチームと、市制施行40周年記念事業プロジェクトチームからの最終的な報告を受け、22年1月に事業を確定していくが、検討中の主なものは、つくし保育園建替補助、福祉バスの本格実施、「健

康ふっさ21」事業のレベルアップ、救急医療情報キット配布、災害時要援護者登録制度等である。



▲つくし保育園

熊川通りの雨水対策を 乙津 豊彦 議員

質問 熊川通りの数カ所の雨水浸透ますも設置後20数年が経過し、現在は全く機能を果たしていないため、降雨時に住民は不自由な通行を強いられているが、熊川通りの雨水対策についての考え方を聞きしたい。

市長 熊川通りのうち市道第178号線は狭あい道路なので、幅員4mに拡幅すると側溝等排水施設が設置でき、雨水処理が可能となるが、整備には用地買収等関係地権者の皆様の御理解・御協力が必要

となる。幸い、一部4m近い幅員の場所もあるので、狭あい道路解消に向け関係地権者と協議・調整を進めていきたい。



▲市道第178号線

牛浜駅全面改修 今後の見通しは 原島 貞夫 議員

質問 9月定例会において市長から、JR東日本八王子支社の説明による工程について答弁があったが、今後の見通しを伺いたい。

市長 JR東日本八王子支社から示された工程は、本年度の基本調査設計、22年度に詳細設計、引き続き22年度後半から23年度にかけて駅舎・自由通路工事、24年度に既存駅舎の取り壊しとホーム内の残りの工事がある。その他市側工事として、牛浜駅東西の公園や駅前広場、トイレの整備工事等で

事業全体を完了させる予定であるが、1日でも早い牛浜駅全面改修を目指したい。



▲牛浜駅

福生市地域防災計画改定 教育行政との 新たな連携、協力は 増田 俊一 議員

質問 災害に強いまちづくり実現に向け地域コミュニティを軸にした防災、減災ネットワークの構築が必要とされる中で、以前は教育行政は別に事業展開されていたが、今回の改定で一体化させ、教育行政との横のつながり、連携、協力により諸事業を展開させていく考えはあるのか。

市長 まちの施設や環境が安全で快適に整備されていることと同時に地域の人たちが助け合える、共助できる関係構築が不可欠であ

ると考えており、どういった事業ができるか教育委員会とも連携して検討していきたい。



▲防災訓練 (H21.8.29)

「子育て支援カード」利用の広がりはいかが 武藤 政義 議員

質問 「子育て支援カード」は私自身も利用し、大変すばらしいと感じた。利用者や、協賛の商店街の方々とお話をする中でも評判がよかったが、開始して1カ月半たつての発行枚数、協賛の加入店数等を伺いたい。

市長 市内商店街の活性化も兼ね、中学生以下の子どもや、妊婦のいる世帯に「ふっさ子育てまるとくカード」を発行し、協賛店での割引等サービスが受けられるものだが、11月16日現在、対

象世帯の25%、約1,200枚発行し、協賛店数は196店舗である。市内商店等の御理解、御協力に感謝する次第である。



▲好評のまるとくカード